

イベント開催のお知らせ

日仏ワークショップ・交通安全研究の現状と将来
Atelier du Japon et de la France
Actuel et futur de la recherche sur la sécurité routière

日本交通心理学会会長 太田博雄
国際交通安全学会会長 武内和彦

日本交通心理学会と公益財団法人国際交通安全学会(IATSS)は、交通安全・道路交通事故の研究に従事する日本とフランスの研究者が、日仏に共通する研究テーマについて研究討議を行い、相互の交流と学術研究の発展を図ることを目的とするワークショップを下記の通り開催します。

フランスからは、IFSTTAR (英語名：The French Institute of Science and Technology for Transport, Development and Networks)などの研究機関に所属する研究者 10 名が来日して、日本の研究者（交通心理学を中心に、人間工学や交通工学などの隣接領域を含む）と共に、日仏双方に共通する研究テーマを取り上げて研究討議を行います。

取り上げるテーマは、規範意識や安全態度の文化差、高齢者及び多様な交通参加者にとっての安全とモビリティ、歩行者・自転車利用者のリスク認知と安全教育、自動運転環境下におけるユーザー側からみた安全と快適などを予定しています。

会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

記

名称：日仏ワークショップ・交通安全研究の現在と未来

日程：2018年10月23日、24日の2日間

場所：ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区）

参加費：無料

参加予定：70名程度、登壇者20名程度

（申込み方法は追って通知します）

内容：23日 研究紹介，ワークショップ，レセプションパーティ

24日 研究紹介，ワークショップ

（使用言語は、英語とします）

以上